

つなぐ



まちづくり人財育成アカデミー
デジタル化支援研修
味生地区 まごころウォーク
高浜地区 浜SUN市
興居島地区 船踊り
生石地区 掩体壕
地域力パワーアップ大会

まちづくり人財育成アカデミー開講

地域資源を最大限活用し、地域課題を解決することができる人(=まちづくり人財)を育成するための講座「まちづくり人財育成アカデミー」が9月27日(土)に開講し、アカデミー第1期生として、まちづくり協議会や地域協働団体の関係者など計13名が参加しています。

全8回開講されるアカデミーでは、受講生が選定した3つのテーマ「まちづくり協議会(地域のまちづくり組織)の若返り」「世代間交流(顔の見える関係づくり)」「情報の受発信・共有の仕組み」に分かれてグループ活動を行い、来年2月に開催される「地域力パワーアップ大会」にて、成果発表を行う予定です。

第1回 (開講式)



まちづくり人財育成アカデミー運営委員会の前田 真委員長に「地域資源を活かしたまちづくり」についてご講演いただいた後、グループに分かれて「アカデミーでやってみたいこと」についての意見交換・発表を行いました。

第1回に引き続き、前田 真委員長に「まちづくりのプロセス」についてご講演いただいた後、第1回で検討した意見をもとにワークショップを行い、グループ活動のテーマや活動内容を議論しました。

第2回



第3回



松山の若者が松山の魅力を発掘・発信する「マツワカ」のゼネラルマネージャーである新居 総一郎氏に、まちづくりへの若者の参画に関する講義を行っていただいた後、マツワカのメンバーを交えながら「若者」と「地域」について考えました。

デジタル化支援研修



~研修カリキュラム(例)~

【第1部】LINE応用

1回目	(1)基本操作の復習 (2)グループの作り方・招待 (3)資料の共有 (4)スケジュール管理、出席確認
2回目	

【第2部】地域コミュニティアプリPIAZZA活用

3回目	(1)PIAZZAとは (2)利用登録
4回目	(3)電子回覧板の有効活用

【第3部】Instagram活用

5回目	(1)Instagramとは (2)利用登録
6回目	(3)投稿 運用・管理方法 (4)交流
7回目	(5)リール動画の作り方
8回目	(6)映える写真の撮り方



雄郡地区、五明地区、味生地区の3地区で、役員間の情報共有の効率化や、SNSを活用した情報発信のスキル向上を目指す、デジタル化支援研修がスタートしました。研修は、松山市シルバー人材センターの職員が講師となり、各まちづくり協議会のデジタル化の現状と目指す目標に応じたカリキュラムに沿って進めていきます。参加者と一緒に操作を行いながら丁寧に疑問点を解決していく、伴走型の支援が好評で、参加者からは、「気軽に質問しやすく勉強になった」や「マニュアルの文字や写真が大きく見やすかった」などの声がありました。

味生地区 まごころウォークラリー

11月18日(火)、味生小学校「まごころウォークラリー」が開催されました。縦割り班の小学生たちが、地区内の全20か所のポイント(まごころ橋など地域の史跡や常夜灯、神社、公園など)を3つのコースに分かれて巡り、クイズにチャレンジ。味生地区まちづくり協議会や関連団体の皆さんと、各ポイントでクイズに挑戦する小学生へ答えのヒントになる説明をして、会話を楽しみながら交流し、小学生の活動を見守りました。寒さに負けない子どもたちの活気に、地域の皆さんも笑顔が溢れます。小学生が味生地区の魅力を見つけるきっかけになったようです。



高浜地区 浜SUN市



10月19日(日)、松山観光港で、高浜地区まちづくり協議会が支援する「浜SUN市」が開催されました。会場には18店舗のグルメブースが立ち並び、唐揚げや焼きそば、おでんやフランクフルトなどの人気メニューに、訪れた人々は夢中! 縁日ブースでは、射的や輪投げ、くじ引きが出店されたほか、お菓子まきが行われ、多くの子どもたちで賑わいました。

興居島地区 船踊り



10月4日(土)、興居島地区秋祭りで奉納される「船踊り」が披露されました。船踊りは、愛媛県無形民俗文化財に指定されており、由良地区と泊地区が毎年交代で実施しています。今年は由良地区が担当で、演目は「伊豫水軍」です。雨が降りしきる中、会場にはたくさんの人々が訪れ、演武に見入っていました。

生石地区 掩体壕



生石地区まちづくり協議会は、市内の全小学校の児童を対象に、掩体壕の歴史や役割などの解説を行っており、10月28日(火)、松山市立福音小学校の児童が見学に訪れました。生石地区に残る掩体壕は、太平洋戦争時、松山海軍航空基地の軍用機を敵機から守るために造られた格納庫で、生石地区まちづくり協議会は、市の指定有形文化財である掩体壕を管理しています。子どもたちは真剣な眼差しで見学し、たくさん質問をしていました。



生石地区まちづくり協議会が発行する「掩体壕」の紹介冊子はコチラ ➤

第10回地域力パワーアップ大会を開催します

第10回目となる今回は、“多世代交流”をテーマに、聖カタリナ大学の遠藤文子教授による絵本を活用した読み聞かせや劇のほか、まちづくり協議会の事例発表を行います。さらに、まちづくり人財育成アカデミーや愛媛大学との連携事業の活動報告も行います。

また、新玉地区まちづくり協議会の設立10周年記念イベントも同時開催し、飲食ブースやおもちゃブースを開設します。ぜひお越しください。

日時：令和8年2月8日(日)

10時～12時30分

場所：松山市総合コミュニティセンター
企画展示ホール1F



詳しくは二次元コード
を読み取ってチラシを
チェック！



あらにゃん

第46回 まちづくり 輝く人

地域で活躍している人を紹介します



栗田 和夫さん
(シルバーパートナーズ
デジタル化支援研修講師)

★趣味・特技★

Wi-Fi ルーターの故障時に役立つウェブ
サイトの作成・運営、読書、美術鑑賞

Q. 研修を行うにあたって心がけていることはありますか。

気軽に質問してもらえる雰囲気を大切に、受講された方全員が「なるほど！」と納得してもらえる講習を心がけています。そのためには、概念や操作方法を分かりやすく説明することが大切だと思っています。

Q. デジタル化のメリットを教えてください。

連絡事項の一斉配信や、会議日程をオンラインで調整するなど、担当者の手間を減らして素早く実施できることです。

Q. 地域の皆さんにメッセージをお願いします。

講習会で培った知識を使って、地域のコミュニケーションの活性化に繋げてほしいです。さらに、イベント情報などの発信とともに、講習会で習得したノウハウを周りの人へも伝えてほしいです。

HP : <http://www.city.matsuyama.ehime.jp/shisei/machizukuri/chiikicommunity/tikudayori.html>

Facebook : <https://www.facebook.com/machijoho>

発行 : 松山市役所 まちづくり推進課

TEL : (089)948-6963

FAX : (089)934-1821



ホームページ



Facebook

<設立状況(R7.12.1) 全41地区中>

まちづくり協議会 31(33地区)

まちづくり協議会準備会 0 (0地区)

